

知られざる名曲を求めてVol.4

絢爛たるマドリガルの美

～コンチェルト・デッレ・ドンネ Concert delle donneからの閃き～



-Programma-

L. ルッツァスキ 私は若い娘
Luzzasco Lizzaschi Io mi son giovinetta
(Madrigali per cantare & suonare a uno, e doi, e tre soprani)

C. モンテヴェルディ アリアナの嘆き
Claudio Monteverdi Lamento D' Arianna
(Il sesto libro de madrigali)

G.de.ヴェルト 君が歌えば、私も歌う
Giaches de Wert Tu canti e canto anch'i o
(Il primo libro de madrigali a cinque voci)

B. パンダヴィチーノ ああ、優しく美しい太陽に向かうように
Benedetto Pallavicino Ah, come a un vago sol
(Il sesto libro de madrigali a cinque voci)

G. フレスコバルディ カンツォン第5番
Girolamo Frescobaldi Canzon Quinta
(Canzoni da Sonare ad una due tre, et quattro; Con il Basso Continuo)

他
*プログラムは、変更になる場合もございます。



<ソプラノ>
小倉麻矢



<リコーダー、アルト>
細岡ゆき



<コルネット、リコーダー>
松山真奈美



<ヴィオラ・ダ・ガンバ>
なかやまはるみ



<チェンバロ>
ウゴ・トウルカ

神奈川公演

2024年7月28日(日)

16:30開演/16:00開場

ひらしん平塚文化芸術ホール多目的ホール

東海道線・湘南新宿ライン「平塚駅」西口より徒歩8分

チケット料金

一般・前売…¥3,500

一般・当日…¥4,000

学生(大学生以下U30)…¥2,000



札幌公演

2024年8月1日(木)

19:00開演/18:30開場

札幌豊平教会

地下鉄東豊線「学園前駅」1番出口より徒歩5分

チケット料金

一般・前売…¥3,500 一般・当日…¥4,000

ペア(前売りのみ)¥6,500 学生(大学生以下U30) ¥2,000

<後援> 札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社

東京公演

2024年8月3日(土)

17:00開演/16:30開場

大森復興教会

JR 京浜東北線「大井町」西出口より徒歩5分

チケット料金

一般・前売…¥4,000 一般・当日…¥4,500

学生(大学生以下U30)…¥2,500

<全公演ご予約、お問い合わせ> アントニオ・カルダラ記念アンサンブル a.caldara.kinenensemble@gmail.com TEL 050-5240-0345 (平日 10:00～19:00)

<ご予約、チケットお取り扱い>

●神奈川、東京公演

東京古典楽器センター TEL 03-3952-5515 (火～日 10:30～19:00)

●札幌公演

平和ステージオフィス office-p@r7.dion.ne.jp / TEL 011-665-0675

道新プレイガイド(10:00～17:00 日曜定休)

札幌市民交流プラザチケットセンター (10:00～19:00 休館日除く)

<電話予約>道新プレイガイド TEL 0570-00-3871 (10:00～17:00 日曜定休) チケット宅配・代引き払い(送料500円/1件) セコマコード D24070302(販売期間7/25まで)

お申し込みフォーム		<TIGET> ご予約、チケット取り扱いフォーム	
全公演		神奈川公演 7/27 23:59まで	東京公演 8/2 23:59まで

主催 アンтониオ・カルダラ記念アンサンブル

絢爛たるマドリガルの美

～コンチェルト・デッレ・ドンネ Concerto delle donneからの閃き～



コンチェルト・デッレ・ドンネ Concerto delle donne は、「女性たちの合奏団」とも呼ばれ、16世紀末から17世紀初頭にかけてイタリアで活躍した女性歌手たちのグループです。彼女たちはフェラーラ宮廷のアルフォンソ2世・デステ公爵の宮廷楽団の一部として活動し、特に宮廷での宴会や儀式、豪華なイベントでの演奏で知られていました。当時、女性が公に音楽を演奏することはまれでしたが、コンチェルト・デッレ・ドンネはその美しい歌声、卓越した技術によって宮廷の人々や音楽愛好者の心を魅了しました。16世紀後半にフェラーラ宮廷での評価を受け、彼女たちの音楽性が注目される中で、同様のグループがマントヴァやフィレンツェなどの宮廷でも結成されました。このグループのメンバーは、ルツァスコ・ルツァスキやジャクス・デ・ヴェルト、パオロ・ヴィルキなどの作曲家たちに多大なインスピレーションを与え、特に「絢爛たるマドリガル Madrigals luxuriant」様式の作曲技巧が流行しました。このスタイルは、全声部のポリフォニーの要素と声楽的な装飾のバランスが取れた特徴的なもので、「第二作法 Seconda pratica」のアプローチの先駆けとなりました。その影響はアレッサンドロ・ストリッジョ、ベネデット・パラヴィチーノ、クラウディオ・モンテヴェルディなどの作曲家の作品にも見られます。

本公演では、コンチェルト・デッレ・ドンネに縁を持つ16世紀末から17世紀初頭の作曲家や同時代の音楽家が生み出した声楽曲・器楽曲を中心にプログラムを編成しました。ここから得たインスピレーションをもとに、その美しさを更に引き立てることを目指して新たな解釈とアレンジを加えています。私たちの演奏を通して、これらの作品が新たな魅力とエネルギーを発揮し、現在の響きとなって皆様へ届けられることを期待しております。

出演者プロフィール



小倉麻矢
(ソプラノ)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業 同大学ディプロマコース修了。声楽を波多野陸美、竹澤嘉明、ジェニファー・スミスの各氏に師事。演技、舞台表現法をティモシー・ハリス氏に師事。大学卒業後に

出会ったイギリスの古楽の世界に魅かれ渡英。ロンドン王立音楽大学古楽科にて演奏ディプロマ取得。在英中はリユートソングデュオ Dialogo Amoroosoとして、ナショナル・ギャラリーを始めとしてロンドン各地で演奏活動を行う。帰国後はロック・オペラの舞台にも活躍の場を広げる。2023年7月東京文化会館にて日本ヘンデル協会主催公演 オペラ「トロメオ」出演。古楽アンサンブルでの親子で楽しめるコンサート活動や、リユートソングの演奏など、「言葉を語り、旋律を歌う」事を旨とし、イギリスで出会った英詩の美しさをいかにして届けるかも研究中。2019年ジョン・ダウランドのリユート歌曲による初のソロCD「流れよ私の涙」発売。

<https://www.mayaogura.com/>



細岡ゆき
(リコーダー、アルト)

上野学園大学音楽学部器楽学科リコーダー専攻卒業。これまで、リコーダーを山岡重治、ヒストリカル・ハーブを西山まりえ、中世・ルネサンス・初期バロックの演奏解釈を濱田芳通、声楽を阿部早希子の各氏に師事。

リコーダーと共に歌の研鑽も積み、アントネッロ「オペラ・フレスカ」公演(モンテヴェルディ「オルフェオ」、レオナルド・ダ・ヴィンチプロデュース「オルフェオ物語」本邦初演)、「モンセラートの朱い本」(NHK BS プレミアム「クラシック倶楽部」放映)などヘリコーダー奏者、兼歌手として出演するほか、NHKEテレヘゲスト出演。2020年立ち上げたアントニオ・カルダーラ記念アンサンブルによる「知られざる名曲を求めて」は、なかなか演奏されない作曲家などの名曲発掘シリーズとして好評を得ている。NHK文化センター青山本校、町田校、東京リコーダー協会講師。リコーダーアンサンブル「百花繚乱」メンバー。アントニオ・カルダーラ記念アンサンブル代表。札幌出身。



松山真奈美

(コルネット、リコーダー)

古楽に強い関心を持ち、東京芸術大学薬理科卒業後ベルギーに渡る。2017年ブリュッセル王立音楽院修士課程古楽科リコーダー専攻、2023年同音楽院修士課程古楽科コルネット専攻を修了。また、2022年には同音楽院修士課程教育学科リコーダー専攻を修了し、教職ディプロムを取得。リコーダーをFrédéric de Roos、Nathalie Houtman、Tomma Wessel、Laura Pok、コルネットをMarleen Leicher、Lambert Colsonに師事。2017年ベルギー室内楽コンクールHoraire Dapsens 第1位。現在、ベルギーのジェット音楽アカデミーでコルネット講師を務める。



Concerto delle donne



なかやま はるみ
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

東京音楽大学ヴァイオリン専攻卒業。卒業後、ヴィオラ・ダ・ガンバを神戸倫樹美、石川かおり各氏に師事。パオロ・パンドルフォ氏のマスタークラス公開レッスン、イタリア・ウルビーノ夏期古楽講習会等受講。初期

バロックアンサンブルを中心に、古楽アンサンブル《アントネッロ》の濱田芳通、西山まりえ各氏に師事。また、故小澤高志氏主宰(スタジオ・オルフェオ)にて、ルネサンスダンスの踊りと音楽を学ぶ。第14回古楽コンクール入選。フェリス女学院大学ヴァイオラ・ダ・ガンバ講座副手歴任。現在、古楽アンサンブル、通奏低音奏者及びソリストとしてフリーで演奏活動を行ない、人々の琴線に触れる演奏を目指し、探究を続けている。



ウゴ・トゥルカ
Ugo Virgile Marie Turcat
(チェンバロ)

ニース地方音楽院にてチェンバロ科、オルガン科のディプロムを取得した後、2021年にベルギーのブリュッセル王立音楽院修士課程古楽科チェンバロ専攻、2022年に同音楽院修士

課程教育学科チェンバロ専攻を修了する。オルガンをOlivier Vernet、チェンバロをFrédéric Haas、通奏低音をPaolo Zanzuに師事。2017年、2019年ベルギー室内楽コンクールHoraire Dapsens 第1位。2018年アンドラ公国古楽オルガンコンクールLa Massana 第2位。現在、ベルギーのジェット音楽アカデミーでチェンバロ・通奏低音講師、伴奏員を務める。